



記者発表資料
令和6年1月25日
防災推進課地域防災班
担当：阿部・島守
電話：022-211-2464
E-mail: bosait@pref.miyagi.lg.jp

東北エリア初！ 「衛生用品防災備蓄自動販売機」 設置発表会のお知らせ

1 概要

宮城県とアース製薬株式会社が令和4年2月に締結した包括連携協定^{※1}に基づく取組として、また、東日本大震災、熊本地震、広島市豪雨災害、能登半島地震などこれまでの災害を教訓とした地域防災力の向上を目的として、一般財団法人みやぎ産業交流センターの協力のもと、東北エリアでは初めて^{※2}、「衛生用品防災備蓄自動販売機^{※3}」を夢メッセみやぎに設置いたします。

この自動販売機は、災害発生時には衛生用品・飲料・食品を提供する備蓄庫として、平常時には防災情報の提供媒体として機能します。

この度、報道機関の皆様への発表会を開催しますので、是非御参加ください。

2 日時及び会場

- 日時 令和6年2月8日（木）
午後1時30分から午後2時まで（午後1時受付開始）
- 会場 夢メッセみやぎ本館展示棟コンコース
（所在地：宮城県仙台市宮城野区港3丁目1-7）

3 主催

宮城県、アース製薬株式会社、一般財団法人みやぎ産業交流センター

4 出席者

宮城県 副知事 伊藤 哲也
アース製薬株式会社 取締役社長補佐執行役員 降矢 良幸
一般財団法人みやぎ産業交流センター 理事長 千葉 隆政

※1 https://www.pref.miyagi.jp/documents/14853/kyouteisyo_1.pdf 参照

※2 アース製薬調べ

※3 衛生用品（手指洗浄液、使い捨てマスク、洗口液、非常用簡易トイレ）を備蓄したライフラインバンダー（緊急時解放備蓄型自動販売機）

◆衛生用品防災備蓄自動販売機の概要



(設置イメージ)

- 平常時は自動販売機として機能。
- 災害時には、手動操作で商品を取り出すことが可能。
- ゴミ箱上のデッドスペースを衛生用品の備蓄庫として活用。
- 災害時に取り出した商品、衛生用品は無償提供。
- 平時から機体前面を防災情報の提供媒体として活用。

◆備蓄品詳細

○ライフラインベンダー内

- ・飲料（ポカリスエット、OS-1等） 300本～400本
- ・カロリーメイト、ソイジョイ 約150個
- ※平時は、自動販売機として機能（ローリングストックにて在庫管理）

○衛生用品備蓄庫

- ・アクアクリエイト手指洗浄液 6本
- ・使い捨てマスク(5枚入) 約30個
- ・洗口液（モンダミンポーション） 約600個
- ・非常用簡易トイレ 2セット
- *設置場所によって増減あり

◆機体側面に掲示する防災情報ポスター

